

畑の生長と 自分自身の成長、 日々チャレンジです。



地域の農を支える生産者

豊中市岡上の町地区

やまもと たかし

山本 隆史さん

(54歳)

箕面の畠では辺り一面に小玉スイカを栽培

A Q 生産のこだわりについて

農薬を使用せずに、有機農法で栽培していることです。農業を始めるきっかけにもなった研修で有機農法について学び、その魅力に感銘を受けました。より安心できる野菜を育てたいという想いがあります。また、有機農法はその野菜の持つている力を發揮できると考えています。本来の美味しさや香りを食べて感じ、知つていただきたいですね。また、肥料にもこだわっています。費用の面や環境に配慮して残渣を使用しています。

A Q 大変だったこと・嬉しかったことはありますか。

大変だったことはスイカの苗を虫に食べられたことです。苗の茎の部分をかじられて、使用できなくなつた時は非常にショックでした。他には、スイカの収穫時期を見極めるのにいつも苦労しています。適

A Q 始めたきっかけについてお聞かせください。

昔から農業には興味があり、家庭菜園で好きな野菜を育てていました。自分の体力があるうちに本格的に取り組みたいなと考えていた時、奈良と豊能町で農業の研修があることを知り、参加しました。そして研修を終えた2021年から豊中市で畠を借りて取り組み始めました。今も保険会社に勤めながら兼業農家として日々頑張っています。



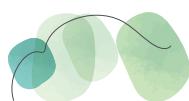
これから生長する小玉スイカの実



トウモロコシ



カボチャ



主な商品

小玉スイカ・ジャガイモ
タマネギ・ミニトマト
カボチャ



A 農業の規模をさらに大きくしたいです。そのためにはもっと広い土地で栽培する必要があるので、新しい土地に移住することも考え

① これから目標や夢をお聞かせください。

大切なタイミングで収穫しないとまだ熟れていなかつたり、反対に熟れ過ぎてしまつたこともあります。たつた1日でもずれてしまふと美味しさが半減してしまいます。その見極めは今も完璧ではないので、まだまだ勉強中です。嬉しかったことは、購入したお客様に喜んでいただいている、役に立っていると実感できていることです。自分の商品を目当てにお店に足を運んでいるお客様がいると聞いた時はとても嬉しかつたですね。



てています。豊能町の農業支援塾と一緒に卒業した仲間たちと協力していきたいです。また、新しい品目にもチャレンジしたいです。イチゴに興味があるのですが、設備費等を考えるともう少し先かなという感じです。豊中も農業従事者は減っています。皆さんには、大阪にもこんなに栽培できる野菜があるんだということをもつともつと知つていただきたいです。少しでも農業従事者が増えてくれることを願っています。